

「鉄道を支える材料技術」の特集名のもと、車両の中でもおもにモーターの正確な動作を支える油の話題、車両のドアに適用して異常を検知するゴム材料の話題、車両の安全確保に影響をおよぼす燃えにくい材料の評価方法に関する話題、高架橋などで使われるコンクリートが膨張してひび割れを生じる現象に関する話題、これらの話題を中心に、鉄道のさらなる安全へとつながる材料技術に関する最新の研究成果を紹介しました。

来月号の特集は「超電導とリニア技術の鉄道応用」です。今より数十年前は「夢の技術」であった「超電導」も、実用化どころか今では応用技術の開発が進められるまでになりました。新しい年を迎えて発行される第1号にふさわしい特集号とするべく新進気鋭の研究者たちが鋭意執筆中です。ご期待ください。

この特集号が発行されるまでに、新型コロナウイルスの影響が終息することは難しそうです。どうぞご自愛ください。(S. N.)